

八百屋塾通信 Vol.24

八百屋塾ホームページをごらんください
▼「八百屋へ行こう」で検索
<http://www.shoukumi.or.jp/index.htm>

いちごたちは、いま 3 番果のピーク！ 入荷量年間最大！

いちご最盛期のいま、気になる等級について調べてみました。
埼玉県オリジナルの最新いちごをご紹介します。

DXとB、気になる違いは？

いちご生産全国一の栃木県での等級分けは、色合い、重量、形状を目で見て選別している。目視のみの等級分けはどこまで信頼できるのか。同産地、同品種のいちご（とちあいか）のDXとBを実食＆計測してみた。

その結果が右の表。目視による等級分けは予想外に実態を表しているようだ。

※コメントは測定者個人の主観的な印象ですが、参考にしてください。

※数値の単位は糖度(度)		DX	B
先端部	平均値	15.2	14
	最高値	16.8	16.8
	最低値	13.3	12.8
中央部	平均値	11.6	10.6
	最高値	12.9	12.9
	最低値	11	9.5
根元部	平均値	9.1	9.1
	最高値	10.6	11.8
	最低値	8	8

●とちあいかDX

- 中央部分まで甘いものが多い
- 糖度の個体差が少なく、安定している
- 味が濃く、糖度以上にBとの食味の差を感じる
- DXでも平たいものは総じて味がボケ気味

●とちあいかB

- 個体による糖度のバラツキがある
- 先端部の最高糖度はDXに匹敵する個体もある
- ヘタの方は味の抜けが早く酸味も多い
- 形は悪いが食味はDXと遜色ないものもある



【とちあいか市場情報】

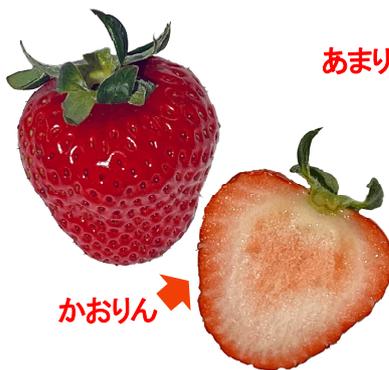
大玉中心だったのが、最近は根疲れか小玉も。露地になると酸味が多少出るが価格も徐々に下がり、とちおとめと並ぶ主力商品に。

埼玉県オリジナル 最新品種情報

埼玉県農業技術研究センターが育成した3品種

●べにたま

市場出荷向け品種。大粒で糖度が高く良食味。現在、県内のスーパー、道の駅、直売所で試験販売中。本格的な栽培、販売は来年を目指す。



●かおりん

●あまりん

「かおりん」「あまりん」の名付け親は落語家の林家たい平師匠。現在、埼玉県内苺栽培面積の約1%。観光いちご園などで徐々に生産拡大中。

市場の動き

●関東産地は3月上旬に3番果の出荷に入り、中旬以降にピーク。九州産地も同様だが、作柄にバラつきが多い。●とちおとめ(栃木県はが野・かみつが):3月3番果、暖候期にさしかかり品質に懸念、収穫時期の品質対策を徹底し、5月中旬までの売り場確保を図る。サイズ比率A/G85%、MS7%、B8% ●やよいひめ(群馬県藤岡):3月上旬に3番果のピーク、安定的な入荷見込み。大玉の2Aサイズ中心 ●あまおう:20日頃ピークを迎える。肥大・着色よく潤沢な出回り ●紅ほっぺ(静岡):15日頃ピーク ●いちごさん(佐賀):入荷量潤沢大玉 ●このほか、スカイベリー(栃木)、きらび香(静岡)、ゆうべに(熊本)、ゆめのか(長崎)など。

■報告！リモート八百屋塾

昨年11月21日に開かれたリモート八百屋塾は「白菜」がテーマ。八百屋塾のホームページでご確認ください。

■動画コーナーをご覧ください。

実行委員長ほか取材陣が、「東京ゴールド」の取材に行ったようすなどがご覧いただけます [動画ページへは、こちらから→](#)

■いちごの情報は八百屋塾ホームページで

◇講演：2020年1月19日 農研機構野菜花き研究部門 野口裕司氏
◇品目解説 橋本幾男氏：2019年1月20日・2015年12月13日・2014年12月14日・2013年12月15日・2012年12月16日・2012年1月15日
杉本晃章氏：2011年1月16日・2010年1月17日

[八百屋塾ホームページへは、こちらから→](#)

4月17日八百屋塾
開講式開催決定！

